

# 事業計画書（資材置場・駐車場等）【記載例】

1. 現在保有または使用している資材置場、駐車場等の利用状況（今回申請分は除く）					
所在地	敷地面積	権利の種類	保管物件の種類・数量	利用率	今後の利用見込み
〇〇町〇〇〇-〇	〇〇 <sup>m<sup>2</sup></sup>	所有権	〇〇 〇本	100%	継続して利用
△△町△△△	△△	賃借権	△△ △台	100%	△年△月に所有者に返還予定
□□町□□-□	□□	所有権	□□ □個 □□ □台 □□ □m <sup>2</sup>	100%	うち□□m <sup>2</sup> については、県道□□線の拡幅工事のため、□月に買収される予定

※申請者（利用者）が現在保有し、または使用しているすべての資材置場または駐車場等について記載すること。  
 ※「利用率」は、敷地面積のうち実際に使用している割合（例：100%、80%など）を記載すること。  
 ※「今後の利用見込み」は、例えば借地で返還予定のもの、保管物件の種類・数量の変更を予定しているもの等について記載すること。

2. 事業の緊急性について
<p>※次は一例であり、実態に即して詳細に記入すること。</p> <p>(例1) 現有資材置場の一部が、別図のとおり道路拡幅工事により買収されるため、その不足分を確保する必要があるため。</p> <p>(例2) 現有資材置場の賃貸借の期限が〇月で満了し、地主から返還を求められており、その不足分を確保する必要があるため。</p> <p>(例3) 事業拡張により△△の分野に進出するため、会社の定款を変更したところであり、新たに▲▲を置くための資材置場が必要であるため。</p> <p>(例4) 当初の見込みでは、1日当たり□□人の利用を見込んでいたが、実際には■■人の利用があり、現有の駐車場に入りきれない客が付近の道路や隣接店の駐車場に駐車して迷惑がかかっているため。</p> <p>(例5) 会社の本社機能が本工場に統合されるため、本工場の従業員が◇◇人増加するが、そのうちの◆◆人が車による通勤を予定しており、現有の駐車場では▽▽台分不足するため。</p>

3. 土地の選定理由
<p>※次は一例であり、実態に即して詳細に記入すること。</p> <p>(例1) 資材を運搬する車の関係で〇m以上の道路に面した●m<sup>2</sup>以上の土地が必要であるが、工場の周辺でこれらの条件を満たす土地は当該地のみであるため。</p> <p>(例2) 会社と一体的に使用する必要があるが、当該地は会社の東側に隣接する土地であり、他の三方は既に住宅が建設されているとともに、近接する土地にも適地がないため。</p>

**4. 土地利用計画**（取水・排水の方法について必ず記載すること。）

（例）盛土後、砂利敷。雨水は敷地内自然浸透。進入路は、市道 0000 号線を利用。

保管対象物件の種類	保管予定量	必要面積 m <sup>2</sup>	備 考
砕 石	〇〇〇m <sup>3</sup>	〇〇〇	
スチール型枠 Δm×Δm	△△枚	△△△	
鋼 管 □□	□□本	□□□	
バックホー ▽▽	▽△台	▽▽▽	
※駐車場の場合の例 ・ 商業施設等については、来客見込数、平均乗車人数、平均滞在時間等から算出した台数の根拠を記載する。 ・ 事業所等については、社員用、来客用、事業用に区分し、それぞれの台数の根拠を記載する。			
合 計		m <sup>2</sup>	

**5. 資金計画**

収入		〇〇円	支出		〇〇円	
内 訳	自己資金	〇〇	内 訳	用地取得費	〇〇	事務費
	借入金	〇〇		造成費	〇〇	その他
	その他			建物等建築費		
				付帯事務費		

**6. 周辺農地への被害防除対策**

（例）隣地との境界には擁壁等の仕切りを設置し、土砂や雨水の進入を防ぐ。

**7. 他法令の調整状況**（各部署の担当者名も記載すること。）

- （1）農地法 ○月○日 担当者名と協議済み。5条許可見込みあり。
- （2）都計法 △月△日 担当者名と協議済み。許可不要。
- （3）その他

**8. 特記事項**